



F☆☆☆☆

Vフロン 200スマイル

V-FLON 200SMILE

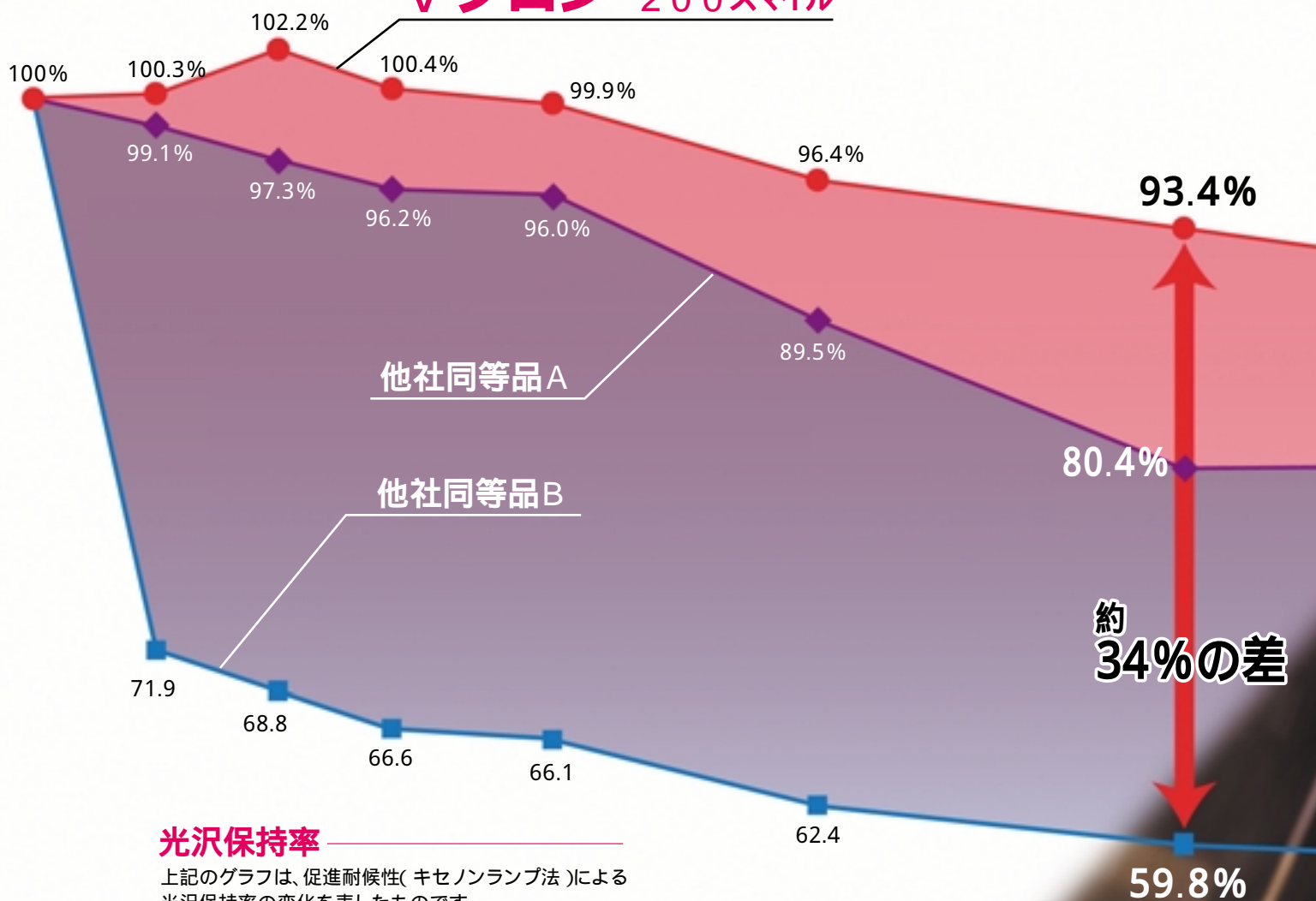
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料



大日本塗料株式会社

スタート

Vフロン 200スマイル



光沢保持率

上記のグラフは、促進耐候性(キセノンランプ法)による光沢保持率の変化を表したものです。

最高の品質!!

ふっ素樹脂塗料が発売されて20余年。

その耐候性の素晴らしさは言うまでもありません。

しかし、これまで、ふっ素樹脂塗料は強溶剤でしか希釈できないというデメリットがありました。

この点を解決したのが「Vフロン#200スマイル」です。

弱溶剤(塗料用シンナー)希釈で環境にやさしく、さらにDNT独自の技術により、強溶剤タイプにひけを取らない仕上がり感を得ることができます。

ターベン可溶形なので、塗重ねの幅が広く、旧塗膜の選択肢も広がります。

の違いが ゴールの差になる。

約
13%の差

88.4%

80.9%

58.6%

特長

環境面に影響のあるトルエン・キシレン等を配合せず環境負荷低減に貢献できます。

中・上塗とも塗料用シンナーで希釈から塗装機の洗浄までできるので作業効率も大幅UP!

塗膜性能は従来の強溶剤塗装システム(Vフロン#200上塗)と同等。

弱溶剤のため、リフティングの可能性もほとんどありません。

商品体系

商品名	色	容量	混合比
Vフロン 200スマイル 中塗	指定色	15kgセット 4kgセット	90:10
Vフロン 200スマイル 上塗	指定色	15kgセット 4kgセット	90:10

用途

建築物の外装及び建築物鋼製建具、金具等
上記の用途以外に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

標準塗装仕様

改修塗装仕様

コンクリート・モルタル(吹付タイル)面の改修

工程	商品名	色相	混合割合 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (時間)20
素地調整	ゴミ、ホコリ、油脂分などの付着物をウエスなどで取り除く。塗替塗装については、旧塗膜を調査し、シンナー溶解する塗膜はVフロ ン 200プライマーシンナーにて除去し、浮いている塗膜、密着力の低下した塗膜は、スクレーパー、ワイヤーブラシにて除去する。						乾燥後
下塗	マイティー液エポシーラー	クリアー	-	無希釈	エアスプレー エアレススプレー	0.10~0.20	3 (~7日)
中塗	Vフロン 200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛 ローラー	0.10~0.13	2 (~7日)
上塗	Vフロン 200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛 ローラー	0.10~0.13	-

(注1)吸い込みの激しい部分へは、下塗を2回塗装して下さい。2回塗装しても吸い込みが止まらない場合には吸い込みが止まるまで塗り重ねて下さい。

(注2)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3)旧塗膜の状態が良好で、吸い込みの少ない場合は、必要以上に塗り込まないで下さい。ハジキなどの原因になります。

(注4)乾燥過程で水(降雨など)の影響を受けると白化することがあります。この場合は軽く表面を研磨するなどの処理をして下さい。

一般鉄部面の改修

工程	商品名	色相	混合割合 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (時間)20
素地調整	ディスクサンダー等の動力工具、ワイヤーブラシ等の手工具を併用し、旧塗膜及びさびを除去し、鉄肌をあらわす。 強固に付着している活膜は残す。						乾燥後
下塗	エポオールスマイル	赤さび、 グレー、さび、 ライトグレー	主剤 85 硬化剤 15	0~15	刷毛 エアレススプレー	0.20~0.53	16 (~14日)
中塗	Vフロン 200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛 ローラー	0.10~0.13	2 (~7日)
上塗	Vフロン 200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛 ローラー	0.10~0.13	-

(注1)素地露出部は、下塗りの補修塗装を行って下さい。

(注2)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

新設塗装仕様(コンクリート、モルタル面)

吹付タイル仕上げ

工程	商品名	色相	混合割合 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (時間)20
コンクリート 乾燥	含水率10%以下、PH10以下で施工する。 (夏:2週間以上、冬:3週間以上)			-	-	-	-
素地調整	-	ウエス、刷毛等で下地の 汚れを除去する。		-	-	-	-
下塗 (下塗材)	マイティー液エポシーラー	クリアー	-	無希釈	刷毛 ローラー スプレー	0.10~0.20	3 (~7日)
模様吹き (主材)	DNTタイルベース	白系	主剤 19 硬化剤 0.7	0~10	エアスプレー エアレススプレー	1.00~1.50	24 (~7日)
シーラー塗り	マイティー液エポシーラー	クリアー	-	無希釈	刷毛 ローラー スプレー	0.10~0.20	3 (~7日)
中塗	Vフロン 200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛 ローラー	0.16~0.20	2 (~7日)
上塗	Vフロン 200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛 ローラー	0.16~0.20	-

(注1)コンクリート乾燥の上記乾燥期間は目安であり、特に寒冷地の場合、乾燥は十分に行って、含水率10%以下、PH10以下で塗装を行って下さい。

(注2)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3)シーラー塗り工程は現地の状況により省くことができます。但し、上塗塗料の使用量が変わります。

ゆず肌仕上げ

工程	商品名	色相	混合割合 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (時間)20
コンクリート 乾燥	含水率10%以下、PH10以下で施工する。 (夏:2週間以上、冬:3週間以上)			-	-	-	-
素地調整	-	油分、水分、ごみを除去し、 清浄な面にする。		-	-	-	-
下吹 (主材)	釉元5号	白	主剤 15 硬化剤 1 パウダー 10	0~5 5~15	刷毛 ローラー スプレー	0.40~0.80	12 (~7日)
模様吹き ゆず肌仕上げ (主材)	同上	白	主剤 15 硬化剤 1 パウダー 10	0~5 5~15	刷毛 ローラー スプレー	0.40~0.80	24 (~7日)
シーラー塗り	マイティー液エポシーラー	クリアー	-	無希釈	刷毛 ローラー スプレー	0.10~0.20	3 (~7日)
中塗	Vフロン 200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛 ローラー	0.18~0.20	2 (~7日)
上塗	Vフロン 200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛 ローラー	0.16~0.20	-

(注1)コンクリート乾燥の上記乾燥期間は目安であり、特に寒冷地の場合、乾燥は十分に行って、含水率10%以下、PH10以下で塗装を行って下さい。

(注2)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3)中塗工程は現地の状況により省くことができます。但し、上塗塗料の使用量が変わります。

(注4)被塗物に小さなピンホール等がある場合は、釉元5号によってしごき処理を行って下さい。

(注5)下地の吸い込みがある場合や粉っぽく弱い場合は、マイティーエポシーラー水を下地に含浸塗布してから7日以内に釉元5号を塗装して下さい。

(注6)3、4工程において釉元5号を厚付けするとクラックが発生することがありますので使用量を厳守して下さい。

標準塗装仕様

新設塗装仕様(コンクリート、モルタル面)

平滑仕上げ

工程	商品名	色相	混合割合 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (時間)20
コンクリート 乾燥	含水率10%以下、PH10以下で施工する。 (夏:2週間以上、冬:3週間以上)			-	-	-	-
素地調整	-	樹脂モルタルによって、不陸、うねり、 波打ち等を左官の作業として補修する。		-	-	-	-
下塗1回目	マイティー液エポシーラー	クリアー	-	無希釈	刷毛 ローラー スプレー	0.10~0.20	3 (~7日)
パテしごき	マイティーエポキシパテ		主剤 50 硬化剤 50	-	-	適量	24 (~7日)
下塗2回目	マイティー液エポシーラー	クリアー	-	無希釈	刷毛 ローラー スプレー	0.10~0.20	3 (~7日)
中塗	Vフロン 200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛 ローラー	0.18~0.20	12 (~7日)
上塗	Vフロン 200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛 ローラー	0.16~0.20	-

(注1)コンクリート乾燥の上記乾燥期間は目安であり、特に寒冷地の場合、乾燥は十分に行って、含水率10%以下、PH10以下で塗装を行って下さい。

(注2)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3)下地の平滑性を要求される場合は、パテしごき工程を繰り返し実施して下さい。(パテ施工後は必ず研磨工程を入れて下さい。)

(注4)平滑仕上げのポイントは、コンクリート、モルタル面の平滑な仕上がりに依存します。大きく波を打っていたり、大きなうねり、小さなうねりのある壁面へは塗装のみでの平滑仕上げに限界があります。必ず関係業者が事前に打ち合わせを行い、樹脂モルタルにて左官の作業として下地を平滑に仕上げして下さい。マイティーエポキシパテに依存するところは最小限度とし、樹脂モルタルの補助としてお考え下さい。

施工上の注意

降雨、降雪の可能性の大きい場合や高温時にはつや引け、ブラッシング、硬化不良などが起こることがありますので、塗装は避けて下さい。

結露などで塗装面が湿っている時は、はく離や硬化不良の原因となりますので避けて下さい。

シンナーで必要以上に希釈しないで下さい。ダレたり、薄膜となり耐久性が不足し、はく離の原因ともなります。

Vフロン 200スマイルにはラッカーシンナー、ラッカーリターダーなどアルコール系溶剤が入っているシンナーは使用しないで下さい。

Vフロン 200スマイルを直接、鉛丹ペイント、鉛丹ジクロロペイント、塩化ゴム系塗料の上には塗装できません。

冬期など乾燥が遅れる場合は、塗料用シンナー-A、又はエナメルシンナー 220を使用して下さい。

塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上または、換気が十分でなく結露の可能性が考えられる場合、乾燥過程で欠陥を生じることがありますので、塗装を避けて下さい。

塗装時、塗料の取り扱いには換気を十分に行い、火気厳禁にして下さい。溶剤系塗料

のため、室内での塗装時、及び塗装後も、必ず十分な換気をして下さい。また、外部での塗装も開口部などの養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意して下さい。

居住者への十分な配慮をお願いします。

飛散防止のための養生をして下さい。

建物の構造によっては、汚れ防止機能が発揮されにくい場合があります。

シーリング材への塗装は、シーリング材の種類によって、割れたり、汚れたりする場合がありますので基本的には避けて下さい。やむを得ず塗装する場合は、塗装用のシーリング材を十分に乾燥させた後に「マイティーエポシーラー白」を先行塗装して下さい。

刷毛塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗布量の違いにより表面肌が異なり色相に差が出ますので、刷毛の部分は希釈を少なめにして塗装して下さい。汚れ傷などにより、補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ず取っておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装して下さい。

Vフロン 200スマイル中塗の上に強溶剤形上塗(Vフロン 200上塗)は塗装しないで下さい。リフティングを起こします。

Vフロン 200スマイル 中塗

塗料性状

項目		内容		
容姿		2液性		
荷姿		15kgセット、4kgセット		
色相		白、各色		
光沢		3分づや		
密度 (20)	塗料	1.1~1.3		
	揮発分	0.8		
粘度(20)		80~100KU		
加熱残分(%)		45~58		
乾燥時間	温度	5	20	30
	指触	1時間	20分	15分
	半硬化	2時間	40分	30分
標準膜厚(μ)		25		
引火点()		主剤 41.0、硬化剤 40.0		
発火点()		主剤 255、硬化剤 465		
爆発限界(下限~上限)		主剤、硬化剤 0.6~7.0%(容量)		
貯蔵安定性(20)		12ヶ月(12ヶ月以降は再検査)		

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

塗装基準

項目		内容		
下地処理		1		
調合法		主剤 90部：硬化剤 10部(重量比)		
熟成時間		-		
可使用時間		20 :8h、30 :4h		
塗装方法		刷毛、ローラー、スプレー		
希釈剤		塗料用シンナー		
塗布法	塗装方法	刷毛、ローラー	スプレー	
	希釈率	5~10%	10~20%	
	標準使用量	0.11kg/m ² /回	0.13kg/m ² /回	
	標準膜厚(μ)	25/回	25/回	
ウエット管理膜厚		-		
塗装間隔	温度	5	20	30
	最小	4時間	2時間	1.5時間
	最大	7日	7日	7日

[1 下地処理] 素材表面の油分、汚れ、埃等を除去し、乾燥した清浄な面とする。
注)標準使用量は、実績値に基づき算出しました。

Vフロン 200スマイル 上塗

塗料性状

項目		内容		
容姿		2液性		
荷姿		15kgセット、4kgセット		
色相		白、各色(但し、色相には制限あり)		
光沢		つや有り		
密度 (20)	塗料	1.22(白、淡彩色)		
	揮発分	0.80		
粘度(20)		105KU		
加熱残分(%)		64%(白、淡彩色)		
乾燥時間	温度	5	20	30
	指触	2時間	1時間	30分
	半硬化	16時間	8時間	6時間
標準膜厚(μ)		30		
引火点()		主剤 41.0、硬化剤 40.0		
発火点()		主剤 255、硬化剤 465		
爆発限界(下限~上限)		主剤 0.6~7.0%、硬化剤 0.6~7.0%		
貯蔵安定性(20)		6ヶ月(6ヶ月以降は再検査)		

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

塗装基準

項目		内容		
下地処理		1		
調合法		主剤 90部：硬化剤 10部(重量比)		
熟成時間		-		
可使用時間		5 :6h、20 :5h、30 :3h		
塗装方法		刷毛、エアレス		
希釈剤		塗料用シンナー		
塗布法	塗装方法	刷毛	エアレス	
	希釈率	5~10%	10~20%	
	標準使用量	0.12kg/m ² /回	0.15kg/m ² /回	
	標準膜厚(μ)	30	30	
ウエット管理膜厚		75		
塗装間隔	温度	5	20	30
	最小	24時間	16時間	12時間
	最大	7日	7日	5日

[1 下地処理] 素材表面の油分、汚れ、埃等を除去し、乾燥した清浄な面とする。PH10以下、含水率10%以下
注)標準使用量は、実績値に基づき算出しました。

使用上の注意

Vフロン 200スマイル 主剤

HB9



危険

●引火性液体および蒸気●皮膚刺激●重篤な眼の損傷●発がんのおそれの疑い
●生殖能又は胎児への悪影響のおそれ●臓器(神経、腎臓等)の障害
●長期にわたる又は反復暴露による臓器(呼吸器、神経、腎臓等)の障害●水生生物に非常に強い毒性●長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

Vフロン 200スマイル 硬化剤

HG9



警告

●引火性液体および蒸気●吸入すると有害●軽度の皮膚刺激●吸入するとアレルギー、喘息又は、呼吸困難を起こすおそれ●アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
●生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い●水生生物に有害●長期的影響により水生生物に有害

吸入したり皮ふにふれたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

取扱い上の注意

1. 火気のない箇所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、入り巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

緊急時の処置

1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 目に入った時には、大量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 皮ふに付着した時には、大量の水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

詳細な内容が必要な時は、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。
左記GHS表示は一例であり、色相等により、容器ラベルGHS表示とは異なる場合があります。

本カタログに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。
本製品の内容は予告なく変更することがあります。

DNT 大日本塗料株式会社

東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23(TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎022-236-1020 ☎983-0034 仙台市宮城野区扇町5-6-20
北関東営業所 ☎0285-24-0123 ☎323-0025 小山市城山町2-10-14(日光堂ビル)
埼玉営業所 ☎048-601-0711 ☎330-0843 さいたま市大宮区吉敷町4-261-1
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0087 新潟市東大通1-4-1(マルタケビル)
長野営業所 ☎026-268-4544 ☎380-0913 長野市大字川合新田1471
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5(富士見ハynesビル)
神奈川営業所 ☎042-773-3371 ☎229-1132 相模原市橋本台2-5-32
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町&(静岡三菱ビル)

西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6466-6618~9 ☎554-0012 大阪市此花区西九条6-1-124
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14(金山総合ビル)
富山営業所 ☎076-436-3666 ☎930-0175 富山市扇海寺63&(中部DNTサ-ビス(株)富山工場内)
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1(三井生命京都山科ビル)
神戸営業所 ☎078-362-0091 ☎650-0025 神戸市中央区相生町1-2-1(東成ビル)
岡山営業所 ☎086-255-0151 ☎700-0034 岡山市高柳東町13-5
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
高松営業所 ☎087-823-5591 ☎760-0064 高松市朝日新町7-8
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2312 福岡県粕屋郡粕屋町大字戸原字ハルル142
長崎営業所 ☎095-824-3457 ☎850-0033 長崎市万才町6-3&(明治安田生命長崎ビル)
塗料相談室 フリーコール 0088-22-1641



地球環境への負荷軽減のために、
古紙100%再生紙と大豆油インクを使用しています。

C-6694.07.11(M)